

札幌市円山動物園ビジョン 2050
第2次実施計画
(案)

2024~2028 年度
令和6~10 年度

仮



札幌市

令和6年●月

はじめに

札幌市円山動物園では、平成31年（2019年）3月に策定した、札幌市円山動物園基本方針「ビジョン 2050」の基本理念に基づく生物多様性*の保全*や環境教育などの具体的な取組を着実に実現するため、令和5年度（2023年度）までの5年間、ビジョン 2050 第1次実施計画に基づく取組を推進してきました。

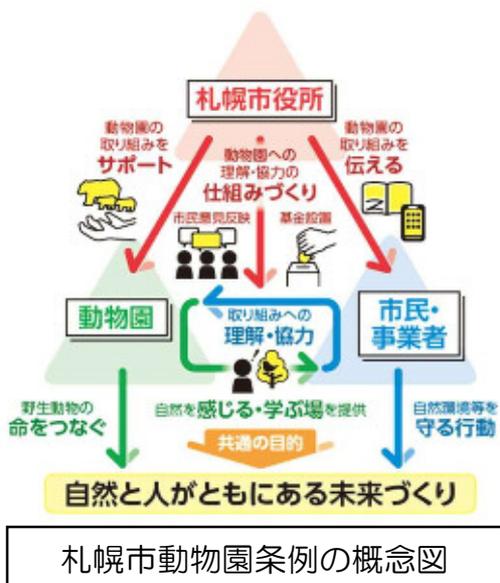
一方で、現在も地球上の生物が毎年4万種絶滅していると言われており、生物多様性の損失が続いています。

このような現状を踏まえ、令和4年（2022年）12月7日から12月19日にかけてカナダのモントリオールで開催された生物多様性条約*第15回締約国会議（COP15）第二部にて、生物多様性に関する国際目標として、新たに「昆明・モントリオール生物多様性枠組」*が採択され、国際目標を踏まえて我が国の生物多様性国家戦略*も令和5年（2023年）3月31日に改定されました。

また、札幌市では、令和4年（2022年）6月6日、動物園の設置目的や事業内容を包括的に定めた動物園の持続可能な運営の根拠となる法規範としては全国初である、札幌市動物園条例*を制定しました。この札幌市動物園条例では、良好な動物福祉*を確保した動物の展示や教育活動の魅力向上へつなげ、市民と動物園、事業者が連携して生物多様性の保全に向けて取り組むことを掲げています。

ビジョン 2050 第2次実施計画は、ビジョン 2050 の基本理念や札幌市動物園条例に規定する良好な動物福祉の確保や生物多様性の保全に向けた具体的な事業や取組等について、令和6年度（2024年度）から令和10年度（2028年度）までの具体的な取組をまとめたものです。

円山動物園が、「自然と人が共生できる持続可能な社会の実現に寄与する」という札幌市動物園条例の目的を達成することにより、市民にとって誇れる動物園となるよう努めてまいります。



* マークの付いた語句については、文末の用語集で解説します。

目次

はじめに

第1章 本計画の位置づけと計画期間について 1

- 1 本計画の位置付け 2
- 2 計画期間 2

第2章 第1次実施計画期間における取組状況と今後の課題.. 3

- 1 第1次実施計画策定後の社会情勢等の変化 4
- 2 これまでの来園者数と収支の状況 7
- 3 第1次実施計画の進捗状況 11
- 4 円山動物園の取組における今後の課題 13

第3章 具体的な事業と取組 17

- 1 第1次実施計画からの変更点等について 18
- 2 「飼育展示していく動物種」について 19
- 3 重点取組項目に対応する事業と取組 32

第4章 施設整備について 51

- 1 これまでの取組について 52
- 2 今後の施設整備について 52

第5章 第2次実施計画の推進に当たって 57

- 1 事業・取組の実施に係る目標設定と進捗管理 58
- 2 来園者のニーズの把握と市民参加の促進 59
- 3 今後の来園者数と収支の見込み 59
- 4 SDGs、生物多様性国家戦略との関係 62
- 5 第3次実施計画に向けた検討について 64

資料編 65

- 事業・取組の整理表 66
- 市民動物園会議の審議経過 67
- 用語集 69
- 市民の皆様から寄せられたご意見の概要と札幌市の考え方について 73